

中新田の虎舞

団体名称 中新田火伏せの虎舞保存会

指 定 国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 平成 18 年 3 月 15 日
宮城県指定無形民俗文化財 昭和 49 年 9 月 29 日

概 要

中新田の虎舞は、2 人 1 組で虎に扮し、太鼓、笛を伴奏に舞うもので、火伏せの祈願として、家の玄関先や庭、道路や屋根の上で演じます。この虎舞は、現在は 4 月 29 日に演じられていますが、かつては 2 月初めの午の日に行われた稲荷神社の初午祭で演じられました。

中新田地区は春になると風が強くと、昔からたびたび大火に見舞われました。「易経」の「雲は龍に従い風は虎に従う」にちなみ、火伏せのために虎舞が始められたと伝えられています。

祭礼は毎年 4 月 29 日に行われ、午前 7 時から午後 6 時まで、保存会は 3 つの分団に分かれ、それぞれ山車に太鼓を載せて、笛、虎が複数ついて町内を回ります。

舞は、「本調子の舞」、「寝覚めの虎の舞」、「岡崎の舞」の 3 種で構成されます。

